

大阪・堺の街にあたらしい文化が生まれます。

芸術文化の発信拠点フェニーチェ堺2019年秋グランドオープン

FENICE SACAY

インフォメーションマガジン



堺
アルフォンス・ミュシャ館

— 世界有数のミュシャ作品群

サカイ

vol. 2

公益財団法人堺市文化振興財団季刊誌 <2018 夏号>

vol. 2
Summer

美

堺 アルフオンス・ミュンシヤ館

文・江南亜美子

昨年度国内美術展の入場者数第1位となった国立新美術館「ミュンシヤ展」 展示作品全80点中38点もの貸出を行い、展覧会を成功へと導いた 堺市が世界に誇るコレクション(約500点所蔵)

これまで洋の東西を問わず絵画にはあまたの美女たちが描かれてきた。フェルメールの真珠の耳飾りの少女、ダヴィンチの「モナリザ」、ル・ワールの「愛しいイーヌ」、ミレーの「オフィーリア」、荻原楓子の「見返り美人」……。彼女たちの美しさは、描かれてから100年経とうと、500年経とうと、永遠に失われることはない。観る者は、その元、その美、そのまじまじと金画面のなかにも閉たれた画家の力量に、ただただ魅了されることになる。



(伊藤)1896年 18歳少女 絹

1860年に現在のチェコ共和国に生まれたアルフオンス・ミュンシヤは、活躍の場となったパリではフランス風の音楽で、アルフオンス・ミュンシヤとし名の知られた画家も、女性を美しく描くことに情熱を傾けてきた。1919年、舞台女優であるサ・ペルナーが主演する「シモン・ボカステ」の演出を手掛けた。それが彼のお眼福に当たったときから、ミュンシヤの人気劇団のキヤスターは始まった。「シモン・ボカステ」以降、6年にわたって描き継がれたサラの「ボカステ」には、ミュンシヤの模倣といえる、中央の女性の優美な、威厳の姿もまた、背景の円形の装飾、植物のモチーフ、エキゾチックな色と文様とがすべてに表れている。演目に応じて、サラの姿は青春少女から男装の麗人までさまざまな女性に変化しているが、いずれもエレガントな襟元、どこか涼しげな髪型と並んで。

ミュンシヤはこれと同様の手法で、ビスケットやお酒、たばこなどの宣伝ポスターも多く描いた。これらポスターが、パリの街のいたるところに貼られた情景を想像すれば、通りを急ぐ人々、買い物婦りのマダムたちが、ふと足を止めて見入る姿が目に浮かぶだろう。それから100年以上が経った現代でも、ミュンシヤの女性たちは、私たちが魅了しつづけているのだ。

そんなミュンシヤの芸術的遺産を誇る美術館が堺市にあることは、意外に知られていない。JR阪和線堺市駅から歩いて、3分、駅に直結したビルに、堺アルフオンス・ミュンシヤ館はある。式舎下町の創業家である十居重徳氏(1926-1980年)が叔父した後、後述のように寄贈された。ユネスコ関係者の作品、約500点を所蔵している。美術館は、年に3回程度、企画展が開催される。テーマに応じて再構成された初期から晩年にかけてのポスター、油彩、素描、彫刻、宝飾品などが展示されており、19世紀末のパリで流行したアル・ヌーヴォー様式の代表的存在となっているミュンシヤの、豊富な作品群を観ることができるのだ。また、体験型のデジタルコンテンツも備え、子供も楽しめる空間コッパもたびたび開かれている。

堺アルフオンス・ミュンシヤ館は、華やかな空間のなかで、ミュンシヤの長いキャリアに思いを馳せることができる。彼は、本の挿絵などでも生計を立てるところから始め、商業ポスター

装飾パネルの分野において名匠ともいえる画家となつていく。装飾パネルとは、当時のカトリックの技術によつて可能となつた雑費用のポスターのことで、買求めるべきパネルは、親の家にも「美」の意識をもたらし、多くは、一点ない、四つ点の連星の形式となり、堺市も所蔵する「四つ花」や「四つ花」シリーズは知られるように、縦長の両面の中央に春の花々や星の光をそれぞれ麗人化した女性に配される。流れのような自然の曲線とエキゾチックな文様が融合した画面の美しさは、「ミュンシヤスタイル」とも呼ばれた。

また、生活に美を、というアル・ヌーヴォーの理念のもとに、実用性を美しさを備えた新しいデザインを発信したミュンシヤは、カレンダーやポスターカード、レストランのメニューにまで変化をもたらしたことになる。ミュンシヤの息女であるシリミニア(「ジューム」)は、父ミュンシヤの作品を、アークトゥンにたまたま話したほどである。「作品の名前を知らない人も、誰もが日常的に楽しむことができたのだ」といふ。民衆に狂喜させる。いまでいうアート・ディレクターのような仕事ぶり。一方で、ミュンシヤは意匠にも、彫刻、そしてインテンダーや宝飾品の立体的なデザインも手掛けている。あるは、アメリカの富豪の肖像制作に力を尽くしたこともある。

それに、いずれ祖国に戻つてスラブ民族の歴史を大壁画に描くために、資金を提供してとれるパトリオット精神の目的もあつた。その計画通り、彼は1910年に相国エゴに加盟する。そして、晩年をかけてかの地で完成させたのが、20点に及ぶスラブ叙事詩である。

2017年春、東京から本郷の国立新美術館で「ミュンシヤ展」が開催され、「スラブ叙事詩」が来日したことは話題に新しい。この展覧会の入場者数は65万人入りありを数え、17年連続で日本における美術展の入場者数第1位となるほどの人気を博したのだ。ちなみに第1位は京都国立博物館、国宝展の約62万5千人、第3位は東京国立博物館(「慶應」展の約60万人)。この国立新美術館「ミュンシヤ展」での目玉が、チェコ国外ではじめて全作公開された「スラブ叙事詩」であることは聞かないが、堺市もまた、全80点の展示作品中38点を貸し出している。そのなかには、一点もなく幸福なことである。大事な点は、たとえその芸術的な価値や描かれた歴史的背景にたいして一切を知らずとも、ミュンシヤの描いた画面を前にすれば、圧倒的に普遍的な美を享受したその女性たちの姿に、たちまち心奪われてしまうのだ。100年以上、色褪むことなく人々を魅了するミュンシヤの美に、さあ、会いに行こう。

開催時間:
9:30-17:15
(入場は16:30迄)

「物語を彩る ミュンシヤと挿絵の世界」2018年7月14日(土)~11月11日(日)

ミュンシヤは、生涯にわたつて多くの挿絵を手がけてきた。物語をよく理解し、独自の想像で唱えられたミュンシヤの挿絵は、文学的な内容を昇華し、美しく視覚化されています。物語に寄り添うミュンシヤの「挿絵」をお楽しみください。

主催:(公財)堺市文化振興財団、堺 アルフオンス・ミュンシヤ館(堺市立文化館) 後援:堺市教育委員会 協力:OGATAコレクション

観覧料:一般500円、高校・大学生300円、小・中学生100円

※小学生未満、62歳以上、障がい者手帳をお持ちの方と介助者は無料 ※20人以上100人未満の団体予約あり ※その他観覧料は別途あり

TEL:077-222-5533 [LINE](#)で検索

休館日:月曜日(祝日の場合は開館) 祝日の翌日(7月17日、9月18日、9月25日、10月9日)

臨時休館日:9月4日-5日 祝日、7月4-11日(8/6の臨時休館日含む)

所在地:堺市東区田井町1-2-200 ヘルマージュ堺市館

交通:JR阪和線「堺市」駅、南海バス「嵐和堺市駅前」より徒歩約3分

駐車場:ヘルマージュ堺市地下駐車場、JR堺市駅前第一駐車場 ※共に有料。専用駐車スペースはございません。



「サラ・ペルナーの世界展」2018年11月23日(金・祝)~2019年3月31日(日)

2018年秋からの企画展は、ミュンシヤに縁の深いサラ・ペルナーをテーマにした企画展を予定しています。

堺 アルフオンス・ミュンシヤ館

江南亜美子(書評家、ライター)

1975年大阪生まれ。現在在住:近畿地方。京都造形芸術大学非常勤講師。現代日本文学を中心に海外の翻訳小説まで幅広く(パル)、新聞、文芸誌、ファッション誌などで精力的に(本)紹介を続ける。川上未祐子責任編集「早稲田文学」女性号にも論考を発表。共著に「世界の8大文芸賞 受賞作から読み解く(現代小説の今)」(立東舎)、大澤剛編「1990年代は誰」(河出書房新社)など。

※表紙のデザイン(挿絵)は実物と異なり得ます。

堺と言われ、日本酒を思い浮かべる人はどれほどでしょうか。
関西地方では灘、西宮、伊丹、伏見が酒どころとして有名ですが、江戸時代から明治、大正にかけて、金剛、葛城山系の上質な地下水を有した堺はこれらと並ぶ産地で、日本を代表する銘柄数も多く生産されてきました。また堺の酒造りはその発展方法がともユニクで、蔵ごとに競い合う他の都市とは違い、中世の自治都市の精神を受け継ぎ、各蔵が手を取り合い作られた酒造組合がその発展に大きな役割を果たしました。

1879年に堺酒造組合が組織化され、その初代組合長は島井勝吉（アサヒビールの前身・大阪麦酒社創業者）が任。1883年には堺精米会社を設立。蒸気機関式精米機を導入することで、足踏式で蔵ごとに質のばらつきがあった精米の品質を格段に引き上げ、その結果すべての上質の酒を造ることに成功しました。これが堺のブランド化に繋がることになりました。するとその3年後の1886年には、堺醸造改良試験所を設立。杜氏や酒造りに関わる人の教育の場となるだけでなく、麹の作り方、麹と精米のバランス、温度、発酵、保存方法などを分析、研究することにより、酒の個性を引き出す方法を科学的に解析し、それらを共有することで、蔵の個性を演出することに成功。折しも日本を含め世界は博覧会ブームで、そこに積極的に出品された堺の酒は、質も味も大変素晴らしいと、誰もが認める酒として国内外に広く認知されることになりました。

「もの始まり何でも堺」の言葉とおり、堺の酒は、現在各地で取り組まれている地産産業のブランド化のしりてで、今から約130年も前に取り組み、そして大きな成功を遂げました。残念ながら地下水の枯渇、そして市街地のため敷地の掘り出れないことという大きな問題と向き、酒造りは衰退し、ついには昭和41年、その火はいったん消えることになりました。しかし元禄2年より堺で味噌や醤油などを製造する「雨風」が、近年、とてつなくの製造販売を始め、4年ほどには酒蔵「堺泉酒造」が誕生しました。また昭和22年に、近畿した益田酒造の「金の船」が東京府南市の小湊酒造と提携し復活を上げ、緑の深い白舌島八幡宮に「金の船」を奉納し、再始りを果たすと、堺の酒の歴史が再び幕を開け動き出しています。

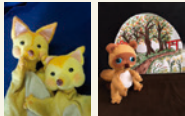
にんぎょうげきフェスティバル2018 in さかい

7月28日(土) 開演:名演 時間:30分前 堺市立東文化会館

大人も楽しめる作品で、親子が1日過ごせるイベントです。出演バベットシアターせんくらぶ、人形劇団 あ、劇団なんじゃもんじゃ、影絵劇団むむのこ、人形劇おなじみのふっく、Pこどり屋、サークルぼっぼ

- 1日(券別)開演時刻 9:45
- ①10:15~11:00 「ゴリゴリ、ゴリん!」【一枚の紙でお話いろいろ】
- ②11:30~12:15 「おまつりのよる」【手回りのよる】
- ③13:00~13:30 光る影絵劇「おはなばやし」
- ④14:20~15:30 「おはなと大きな木」ほか
- <前売> 1日券 大人1,000円 子供500円(3歳以上~小学生)
- <当日> 1日券 大人1,200円 子供600円
- 自由席

発売中 主催:堺市立東文化会館



W S E S3312

東京大衆歌謡楽団

~昭和初期の名曲を唄う~ 9月30日(日) 開演14:30 開場14:00 堺市立博文化会館ホール

~今を歌う 忘れたい心を照らす唄~ 古き良き昭和の流行歌をこよく愛し、過去へタイムトリップしたような懐かしいスタイルで昭和歌を歌い継ぐ、高音孝太郎(男)、高島隆次郎(フューション)、高島隆三郎(フレッドペー)、高音孝太郎(パンジー)の兄弟からなるユニット、中高生層のみならず、最近では古き良き昭和歌謡を知らない若い世代にも注目されている、世代を超えて彼らの公演で心温まるひとときを一緒に。

- <前売> 一般2,500円 高校生以上1,000円
- <当日> 一般1,500円 高校生以下500円UP
- 全席指定
- ※3歳以下1名まで膝上鑑賞無料。
- ただし、座席が必要な場合はチケット必要。

7月6日(金)発売

主催:(公財)堺市文化振興財団



W S E S2066

小原孝ピアノリサイタル2018

~ピアノ名曲オーケストラ日本を奏でる~ 10月7日(日) 開演14:00/開場13:30 堺市立博文化会館ホール

好評放送中のNHK-FM「聞き語りフォーユー」パーソナリティーの小原孝のピアノコンサート。ダイナミックな演奏とやさしいトークをお楽しみください。皆様からリクエスト曲にもお応えします。

小原孝 プロフィール
1986年国立音楽大学大学院を首席で修了。クワイアリーダー賞受賞。
1990年のCDデビューより145枚のアルバムを発表。ジャンルにこだわらない音楽性が共感呼び全国各地でコンサートを行いステージ数は1,000回を超え、演奏のみならず作曲、作曲、編曲などマルチな音楽活動で活躍中。
出演:小原孝 <前売>3,000円 <当日>3,500円 全席指定

7月6日(金)発売

主催:堺市立博文化会館



W S E S1807

アルテルベルコンサート 生糸&ホリ・ヒロシ

~絃の調べと人形唄~ 11月11日(日) 開演14:00/開場13:30 アルテルベル(堺市立東文化会館)ホール

源氏物語 夕顔
胡弓と華による和のユニット「生糸」の絃の調べと、等身大の創作人形を演じ舞う、ホリ・ヒロシの「人形唄」が趣意に交錯する稀有なコラボレーション。

出演者 生糸 本場大輔(絃弓)
伊藤麻衣子(華、二十五絃琴)
人形唄 ホリ・ヒロシ
帆之直(ワキ遣い)
助演 折本慶太(十七絃琴)
<前売>2,500円 <当日>3,000円 全席指定

8月10日(金)発売

主催:アルテルベル(堺市立東文化会館)



W S E S6716

SACAY-ALWAYS THE TRIGGER

TRIGGER 英語 名詞:(鏡などの)引き金、きっかけ 動詞:(出来事や反応などを)引き起こす。もたらす
「堺はいつでも何かをもたらすきっかけとなっている」という、過去現在問わず、もの、文化など、
何が始まる躍動感が、この英語のキャッチフレーズにクールに含まれている。





SACAY Information

公演情報

7月

7月14日(水)～16日(金)
7月21日(水)～24日(土)
10:00～18:30
(入場料16,300円)

子どもアートプロジェクト 堺市立東文化会館ギャラリー
高校生以上300円 3歳以上～中学生200円 2歳以下無料 ※除日・春手帳をお持ちの方と介助者の方は無料
主催：堺市 共催：堺市立東文化会館 ※水曜日は休館(7月18日・25日、8月1日・8日)

7月29日(日)～
8月19日(日)
9:00～18:00
(入場料17,300円)

驚がる、広がる、蓄手アーティストのちから。
さかいアートパワー ～堺市新進アーティストパブリック展
ワークショップ(有料)の開催・オープンコンサート(観覧無料)もあり 主催：(公財)堺市文化振興財団 共催：さかい・利品の社
ワークショップ(一般300円 高校生200円 中学生以下100円)の必要

28日(土)

にんぎょうげきフェスティバル 2018 in さかい 堺市立東文化会館メインホール ほか
<前売>大人1,000円 子ども500円(3歳以上～小学生) <当日>大人1,200円 子ども600円
自由席 発売中 主催：堺市立東文化会館 ※2歳以下のお子様は路上観覧無料

18日(土)

アルテルベルジャズコンサート ～Saturday Jazz Time Vol.48～ アルテルベル(堺市立東文化会館)ホール
<前売>当日1,000円 自由席 発売中 主催：アルテルベル(堺市立東文化会館)

18日(土)

第47回 堺市新人演奏会 堺市立東文化会館メインホール
<前売>1,200円 <当日>1,500円 自由席 発売中 主催：(公財)堺市文化振興財団

18日(土)

「第11回桐文客席」～米國治、吉詠二人会～ 堺市立桐文化会館ホール
<前売>2,800円 <当日>3,300円 全席指定 発売中 主催：堺市立桐文化会館

26日(日)

落語家・僧侶 露の団炬(ゆづるまろ)講演会 アルテルベル(堺市立東文化会館)ホール
「一言を聞かす・自分の持ち場で一生懸命」
<前売>1,500円 <当日>2,000円 自由席
発売中 主催：アルテルベル(堺市立東文化会館)

8月

1日(土)

～子どもから大人まで楽しめる!
みんなであそび打ち楽器コンサート リズムバラダイス 堺市立東文化会館 メインホールほか
<前売>当日>大人1,500円 子ども800円 3歳以下無料 ※当日は保護者1名につき1名まで路上無料。自由席 S ※窓口入りのみ S1784
発売中 主催：(公財)堺市文化振興財団 協賛：(株)あそび打ち楽器
手作り楽器体験ワークショップ(材料別別途) ※(株)カララベックス事業協賛による楽しく音の出るオリジナル楽器づくりもあり。

9日(日)

ネルトガリター&マンドリン「マリオンネットコンサート」 ～ノスタルジア Sacay～ 堺市立東文化会館フラットホール
<前売>1,500円 <当日>2,000円 自由席
発売中 主催：堺市立東文化会館 後援：ネルトガリ大使館

29日(土)

Higashi Jazz Stream vol.4 ～クレメンテラ特撮～ 堺市立東文化会館メインホール
<前売>1,000円 <当日>1,200円 自由席 7月6日(金)発売 主催：堺市立東文化会館

29日(土)

ケロポンズファミリーコンサート アルテルベル(堺市立東文化会館)ホール
ケロポンズとピコピコでまどっちやん
<前売>一般2,000円 子ども(3歳以上)800円 <当日>一般2,500円 子ども(3歳以上)1,000円 全席指定
発売中 主催：アルテルベル(堺市立東文化会館) ※3歳児未満路上無料(但し、必要場合は有料)

30日(日)

東京大衆歌謡楽団 ～昭和初期の名曲を聴こう～ 堺市立桐文化会館ホール
<前売>一般2,500円 高校生以下1,000円 <当日>各500円増 全席指定
※3歳以下1名まで路上観覧無料。ただし、産前が必要な場合はチケット必要。
7月6日(金)発売 主催：(公財)堺市文化振興財団

9月

チケット

WEB購入(詳細P9)

電話・窓口購入(詳細P9)

チケットぴあ(予約)
0570-02-9999

ローンチケット(予約)
0570-084-005

9月

30日(日)
クリニック 9:30～11:30
開演14:00/開場13:30

アルテルベル「windクリニック&コンサート」 アルテルベル(堺市立東文化会館)ホール
<前売>800円 <当日>1,000円 自由席 発売中 主催：アルテルベル(堺市立東文化会館)
クリニック/大阪芸術大学教員による講習、コンサート/学生windオーケストラによる演奏

6日(土)
開演15:00/開場14:30

TANGO COQUETAコンサート 堺市立東文化会館フラットホール
with ROBERTO DE LOZANO & MAKO ～情熱と哀愁のアルゼンチンタンゴ～
<前売>1,000円 <当日>1,500円 自由席 7月6日(金)発売 主催：堺市立東文化会館

7日(日)
開演14:00/開場13:30

小原孝ピアノリサイタル2018 ～ピアノ名曲フォーエーと日本を愛する～ 堺市立桐文化会館ホール
<前売>3,000円 <当日>3,500円 全席指定 7月6日(金)発売 主催：堺市立桐文化会館

13日(土)
開演14:00/開場13:30

堺シティオペラ 子どもオペラぶら座「金の斧・銀の斧」 堺市立東文化会館メインホール
<前売>当日>一般2,000円 子ども(3歳～小学生)500円
※楽楽楽源のお子様も席が必要な場合は有料 13:30～14:00までロビーイベントあり
自由席 7月20日(金)発売 主催：(公財)堺市文化振興財団 共催：堺シティオペラ(一社)

29日(月)
開演18:30/開場18:00

第40回市民客席「桂木朝一門会」 国際障害者交流センター(ビッグ・アイ)多目的ホール
<前売>3,000円 <当日>3,500円 全席指定
先行発売(抽選)7月5日(木)/一般発売:8月3日(金)発売
主催：(公財)堺市文化振興財団 フェニチエ準備室 制作協力：米朝事務所

11日(日)
開演14:00/開場13:30

ジョイントコンサート 堺市立桐文化会館ホール
<前売>当日1,000円 自由席 発売中
主催：堺市合唱連盟 共催：堺市立桐文化会館 問合せ：堺市合唱連盟事務局 090-9253-4552 北川

11日(日)
開演14:00/開場13:30

アルテルベルコンサート 生糸&ホリ・ヒロシ ～縁の国へ人と舞育～ アルテルベル(堺市立東文化会館)ホール
<前売>2,500円 <当日>3,000円 全席指定
8月10日(金)発売 主催：アルテルベル(堺市立東文化会館)

無料イベント

8月4日(土) 12:00～
8月5日(日) 10:00～

堺アート・ワールド2018 堺市産業振興センターイベントホール
ライブパフォーマンス、ワークショップ(材料別別途)、アートマーケット・フードコーナーなど。
8/5(日)堺市青少年合唱団・堺リブズハーモニーによるコンサートあり。
入場無料(別途、ワークショップなど参加費あり) 主催：(公財)堺市文化振興財団 後援：堺美術協会

9月2日(日)
開演13:30/開場13:00

市民参加型事業「桐文朗読発表会」 堺市立桐文化会館 3階 第1講座室
入場無料 自由席 ※未就学児入場不可 主催：堺市立桐文化会館

9月8日(土)
9月16日(日)
9月22日(土)
9月23日(日)

堺市民芸術祭 ※9月開催分 堺市立東文化会館、堺市立桐文化会館
9月8日(土)13:00～17:00 堺市邦楽協会演奏会 観・聴の恵和(堺市立東文化会館 メインホール)
9月16日(日)12:30～16:30 (出物料1,000円) 第32回堺市民芸術祭川柳大会(堺市立桐文化会館 第1講座室)
9月22日(土)10:30～17:00 新舞踊の会(堺市立桐文化会館 ホール)
9月23日(日)10:30～14:00 日本舞踊の会(堺市立桐文化会館 ホール) 14:00～17:00 長舞謡の会(堺市立桐文化会館 ホール)
入場無料 自由席 主催：問合せ：堺市文化芸術振興協議会 072-228-1144 後援：(公財)堺市文化振興財団

9月16日(日)
開演13:30/開場13:00

堺市青少年合唱団・堺リブズハーモニー定期公演 ウェスティ(堺市立西文化会館)ホール
入場無料 自由席 主催：(公財)堺市文化振興財団 第1ステージ合唱、第2ステージミュージカル

8月9日(木)
午後の部 開演10:00/開場9:30
午前の部 開演13:30/開場13:00

第4回 夏休み子ども映画まつり「パティントン2」 堺市立東文化会館メインホール
入場無料 全席指定 各日:30名 事前参加申込み・往復乗車に必要な乗車券記入申込(1通につき4名まで)。
締切:7月1日(土)必着 ※応募多数の場合は抽選 主催：堺市立東文化会館

e+1(イプラス)
http://eplus.jp

未就学児入場不可

主催・問い合わせ先はP9へ

チケット購入方法

WEBで予約

サカイメイト 検索

(公財)堺市文化振興財団ホームページ

<https://www.sakai-bunshin.com>

- 24時間予約OK
- 財団HP「チケット購入方法」から予約
- sacayメイトの登録が必要です。(WEB予約はログインIDとパスワードでログイン)
- お支払いはクレジットカード決済かセブンイレブン支払から選べます
- チケット引取は下記窓口かセブンイレブンから選べます

TELで予約

堺市文化振興財団チケットセンター(平日9:00~17:30)

072-228-0055

- チケット引取は下記窓口が選べます
- ※発売日翌週の月曜日より受付開始(公演により異なる場合があります)

窓口で直接購入

下記で空席状況を確認しながら、座席を選んでご購入いただけます。

(公財)堺市文化振興財団	販売 9:00~17:30	堺市堺区熊野町東4-4-20 林ビル6階 / 南海高野線「堺東」駅徒歩約10分 TEL:072-228-0440 FAX:072-232-0110 / 土曜・日曜・祝日 および年末年始
堺市立樟文化会館	販売 9:00~20:00	堺市南区桃山台2-1-2 / 泉北高速鉄道「樟・美木多」駅前 TEL:072-296-0015 FAX:072-291-7083 / 月曜および年末年始
堺市立東文化会館	販売 9:00~20:00	堺市東区北野田1084-136 / 南海高野線「北野田」駅直結 TEL:072-230-0134 FAX:072-230-0138 水曜(祝日の場合は開館)および年末年始
アルテベル (堺市立美原文化会館)	販売 9:00~20:00	堺市美原区黒山167-1 / 南海バス「美原区役所前」バス停前 TEL:072-363-6868 FAX:072-363-0070 第2・第4月曜(祝日の場合は開館)および年末年始

●ご購入いただいたチケットは公演中止を除き、変更・キャンセルはできません。 ●紛失・破損等いかなる場合においても再発行はいたしません。

サカイメイト募集

登録無料



(公財)堺市文化振興財団やフェニーチェ劇場で取り扱うチケットを便利にご購入いただけるサービスです。

詳しくは
サカイメイト 検索

4つのsacayメイト特典

- 先行予約 チケットがいち早く予約できる(一部公演を除く)
- メルマガ配信 最新の公演情報をメールでいち早くお届け
- WEBチケット購入 24時間どこからでもチケットが買える
- その他 お得な情報が届くかも?

登録数
1万人
突破!!

フェニーチェ劇場・(公財)堺市文化振興財団 寄附のお願い

フェニーチェをはじめ(公財)堺市文化振興財団をご支援いただく寄附金を募集しております。詳しくはホームページ、又は(公財)堺市文化振興財団 総務課までお問い合わせください。TEL:072228-0114(平日9:00~17:30) FAX:072-228-0115

堺市各区役所情報コーナー、文化会館、図書館、その他各市民関係施設、南海本線・高野線、泉北高速鉄道の主要駅、その他、配布協力施設など。

情報誌設置場所(季刊)



イラスト: 一色 美保

年末には「第九」を

多田純一



かつて、年末の大晦日には家族揃って「紅白歌合戦」を見る、という時代があった。近年では「日本人の心」と言われてきた演歌仲は減り、視聴率も低迷し、様相が変わってきている。しかし、それでもまだ「箱もの人々」が観ているのだから、年越しという特別な時間を感じさせる役割のひとつとなっているようである。

「紅白」と同様、年末に行われる主要な音楽イベントとして根強い人気があるのは、ベートーヴェン作曲(交響曲 第9番)二楽章 作品125の演奏会である。「サントリー 1万人の第九」をはじめ、「第九ひろしま」や「TOKYO FM 夢の第九コンサート」などの恒例となっている主要なイベントは、単に規模が大きいというだけでなく、多くの参加者が即ち感動を得るために練習を重ね、達成感を得て1年を締めくくる特別な演奏会なのだ。「紅白」と「第九」が共通するキーワードは「歌」である。

その一方で、「第九」の一言で通じるこの作品を通して聴くことができる、ということも実は多いのではないだろうかと私は考えている。なぜなら、全体を通して聴くと概ね60分から70分ほどの大作だからである。しかしながら、だからこそ是非とも全体を通して聴いていただきたい作品だ。先ほど記載した通り、この作品の作品番号は125となっている。すなわち、ベートーヴェンの後期作品に位置しており、すべての(ピアノ/ソナタ)を作曲し終えた後に完成した(交響曲)の最後の作品でもあり、彼の人生をかけた集大成となる作品のひとつであると言っても過言ではない。ペー

ヴェンの難聴については諸説あるので一概には言えないが、この作品の作曲時にはほぼ聞こえていなかったと言われている。1824年5月にウィーンで初演された演奏会にはベートーヴェン自身も立ち会ったとされているが、聴衆の拍手の音に気付かなかったというエピソードも伝えられている。

この作品の日本人による公式初演は、1924(大正13)年11月に行われた東京音楽学校での演奏とされている。しかし、日本国内の演奏史・受容史として見た時、重要な出来事としてそれより前の1918(大正7)年6月に徳島県の板東俘虜収容所で行われたドイツ人による演奏が挙げられる。この演奏を本邦初演と考えると、今年はずっと100周年である。第1次世界大戦により俘虜としたドイツ人の友好的な関わりについては「バルトの楽園」として映画化され、話題になった。第2次世界大戦では学徒を送るために、また、追悼するためにも演奏された。いずれの場合にも、この交響曲が「合唱付き」であることに意味があるのではないだろうか。

歴史の裏表に見られる様々なエピソードは、この作品が持つ生命力と「歌」に人々が惹きつけられることの証なのだろう。

多田純一

明治音楽大学 大阪芸術大学大学院芸術研究科博士後期課程修了。博士号(芸術文化学専攻)。編井美津子、安部あかり、前田順子の各氏に師事。アンジェ・ヤンソン氏の音楽レッスンを受講。シブチ作品および「バイエル」に関するエディション研究、日本におけるジョン・パヴァリッチ受容、ピニースト・洋田博樹の研究において論文多数、講演やレクチャー・コンサートも行っている。奈良県立短期大学専任講師。

21世紀の第九 ～第九とアダージェット～ 2018年12月28日(金) 開演19:00 / 開場18:00

7月22日(日)発売 全席指定 A席6,000円 B席4,500円

主催:ABCテレビ 共催:堺市、(公財)堺市文化振興財団 協力:ザ・シンフォニーホール 問合せ:ABCチケットインフォメーション06-6453-6000

堺市長割引(A席のみ1,500円) 詳細は、財団HPへ。 堺市長割引WEB先行(抽選):7月12日(木)午後12:00

ザ・シンフォニーホール

W S U G

119-780

05684

チケット

W S U G

についてはP7をご覧ください。 ※堺市長割引は窓口販売のみ(身分証、取扱い窓口は財団HPへ)

FENICE SACAY フェニーチェ堺

新しいSACAYの文化が始まる

2019年秋
グランドオープン



外観イメージ

2,000席の大ホール

大ホールは大区内の公共ホールで唯一となる2,000席を有します。芸術文化の発信拠点となるべく、クラシックやバレエ、伝統芸能、ポップスなど多彩なジャンルの催しを準備中。

ホール名称

「フェニーチェ堺」とは??

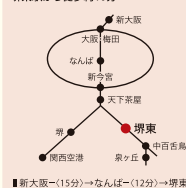
堺は度々の戦火から不死鳥のように蘇ってきました。また、中世、宣教師にイタリアのベニスのごとく称されたことから、不死鳥(フェニックス)をイタリア語で表現しています。

SACAYとは??

中世において宣教師により記された、ヨーロッパでの印刷による単独の日本地図としては最初のものであるティセラ/オルテリウス「日本図」(1595年)に記載された「堺」の表現です。本州で国名以外の表記があるのは、堺(SACAY)と郡(MEAKO)の二都市のみであり、自由・自治都市、また国際貿易港として大いに繁栄した当時の堺を彷彿とさせる表現です。

ACCESS

堺東駅から徒歩約10分



イタリア料理の名店「ポンテベッキオ」が来店!



「ポンテベッキオ」オーナーシェフを務めるのは、日本イタリア料理界を代表する山根大助氏。北浜本店の他、3店舗展開中。イタリアの權威あるレストランガイドにおいて日本のイタリアンレストランで最高評価を獲得されています。魅力ある街づくり、賑わいづくりを創出し、「本物」にこだわったイタリアンを嗜んで楽しんで頂けます。



なんしゅうじ 南宗寺の宴 ライブレポート

文：江南亜美子
写真：飯島隆



フェニーチェ堺 Presents 『南宗寺の宴 ～利休に捧ぐ～ 2018』
山下洋輔(ジャズピアノ)、桐竹勘十郎(人形浄瑠璃)、平原綾香、さだまさし、辻井伸行×佐渡裕(フルート&リコーダー)
南宗寺本堂で5月26日から6月14日にかけて行われた豪華ラインナップのライブレポート

さだまさし ライブとお話

6月8日の夕刻「さだまさしライブとお話」は、時おり強く雨が降るなか始まった。期待で胸をふくらませる、厳正な抽選で当選した幸運な112人の観客の前に、柔和な笑顔をうかべてひいとお姿をあらわしたさだ氏は、ギター一本で、「梁山子」や「Birthday」などのヒット曲を披露していく。演奏の合間に、さだ氏のむひつとつるの代名詞といへば軽妙なトークが披露され、「Birthday」が生まれるきっかけとなった岐阜県谷汲村(現掛支町)での笑福亭鶴瓶さんとの旅の思い出も語られた。

南宗寺の本堂で行なわれたライブは、舞台に向かって左手に国の名勝地園に指定されている枯山水の庭が広がり、閉じられたホールとはまた異なる音の響きを生む。雨音や雷鳴が、ギターやさだ氏の繊細な歌声の、伴奏となるような瞬間も。

次第に会場の空気が一体化するムードに包まれて、ライブも後半へ、13歳で郷里の長崎を離れ、東京でバイオリンの英才教育を受けていたころのエピソードでは、折々での人との出会いが、自身の音楽を作ってきたと語る。東日本大震災での被災地慰問や、災害時の支援活動のために「公益財団法人 風に立つライオン基金」を設立するなど、被災者支援に尽力を続けるさだ氏の、心のあたたかさが見聞見えるシーンとなった。

日本で最も多くコンサートを行なう歌手としても知られ、積み重ねたその数はおよそ4300回を数える。「たいていのところには行きましたから、どんな会場で歌うことになっても驚きません



よと笑うさだ氏に、新しく生まれる「フェニーチェ堺」に期待する点を伺うと、「僕ら演奏側は、スタッフの勤務がスムーズに確保される」といいなと冗談めかして語ったのち、「どんなホールがあるかその街の文化のひとつのパロメーターになります。でもお金のかけたホールであればいいわけではない、街の人が愛せる場所になるように、心をこめて手をかける必要があるでしょうね」レコードデビュー45周年を記念する、45作目のオリジナルアルバム「Reborn」のリリースを控え、「いつまでも生まれ変わる新鮮な気持ちで音楽にのぞみたい」と、さだ氏。ライブ後に行われた観客との集合写真の撮影まで、笑顔の絶えないひとときとなった。

辻井伸行×佐渡裕 ライブとお話

6月14日の南宗寺は晴天に恵まれ、本堂にも心地よい風が入る夕刻に、佐渡裕さんと辻井伸行さんによるライブとお話はスタートした。まず佐渡氏がひとりで登場、13歳のときから知っていた辻井氏を「のぶくん」と呼び、「のぶくんのピアノの前にやります」と縦笛とフルートをチャッキングに披露した。辻井氏が最初に演奏したのは、自身が作曲を手掛けた「神様のカルテ」。本堂を流れていく澄み渡る軽やかな音色に、佐渡氏も目をつむって聞きほれた。

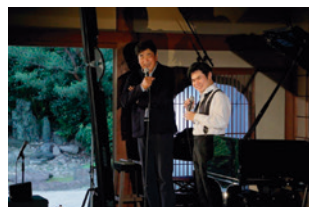
つい先週にはウィーンにて、佐渡氏が音楽監督を務めるトーン・キリストラー管弦楽団定期演奏会でラヴェルのピアノ協奏曲を共演したおふたり。現在、若く29歳にして世界を股にかける活躍をみせる辻井氏を佐渡氏が最初に知ったのは、ある記者経由で辻井氏のご母堂から託されたCDであり、入浴中に何気なく試聴しただけでその才能の程めきに気がついたのだとか。直後に実現した初対面の際、音色に涙したことも、佐渡氏から半草に語られる。辻井氏は、「会いたいと言ってもらえて嬉しかった。その二、三か月後にはやはりで公演する話になりましたね」と、驚きのエピソードを笑顔で披露した。

お話には、2009年に「第13回ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクール」で日本人初の優勝を果たした辻井氏のコンクール秘話なども、音楽を通して育まれた信頼関係は、師弟の枠を超えて尊敬しあう音楽家同士のそれであると、観客にも感じられた。

佐渡氏のインタビューでドキュメンタリー「月の光」が演奏され、美しくめくもあるピアノの音色に会場全体がすっぱりと覆われていく。

氏は「辻井くんのピアノを聴くと二か月は善人といられる気がします」と独特の表現でその才能を褒めた。たまた。ジャズテイストが聴く者の心を躍らせるカブースチンの「演奏会用練習曲第1番」や、フルートとピアノで二人が共演した辻井氏編曲「ジェニーへのオマージュ」、エルガー「愛の挨拶」も、観客に「南宗寺の宴」ならではのスペシャル感をもたらした。

佐渡氏は「フェニーチェ堺に、「堺だけでなく大阪全域、神戸、京都からも来たいと思わせる、広場のような、人々に愛される場所になってほしい。演奏会にいくという人生を楽しむチャンネルを広く提供できるように」と期待を寄せる。辻井氏から「ぜひフェニーチェ堺でも佐渡さんと共演できればいいですね」と弾むような言葉がそれにつながった。



予告

2019年秋
フェニーチェ堺グランドオープン
～1年前カウントダウンイベント～

開催日：2018年9月16日(日)

開催場所：Mina さいかい(市民交流広場/堺市役所前)
南海高野線「堺駅」駅前

来年秋のオープンに向け、カウントダウンイベントを開催!!
カウントダウンセレモニーをはじめ、豪華ゲストによるステージ、スタンパラリー、フードコートなどで地域一帯を盛り上げます。

詳細は8月にHPでお知らせ [フェニーチェ堺](#) [検索](#)

※イベントの内容は変更になる可能性がありますので、ご了承ください

第40回市民寄席 「桂米朝一門会」 10月29日(月)

開演18:30 / 開場18:00 国際障害者交流センター(ビッグ・アイ)多目的ホール

お待たせいたしました。恒例の米朝一門会。

<前売>3,000円 <当日>3,500円 全席指定
先行発売(抽選)7月5日(木) / 一般発売:8月3日(金) 発売
主催:(公財)堺市文化振興財団フェニーチェ堺準備室 制作協力:米朝事務所



W S U 487-041 53688 e、他 *

2019年秋グランドオープン フェニーチェ堺 プレコンサート シリーズ

フェニーチェ堺が
今年度自信を持って
お勧めする演奏会

三代澤康司の ザ・シンフォニーホール ドッキリ! ハッキリ! クラシックです!

三代澤アナウンサーとウィーン在住の指揮者寺岡清高さんが
クラシックの秘密を大人目線で鮮やかに新感覚コンサート。
15回目を迎える今年は大人のための「ワルツ」入門!

2018年10月20日(土) 開演14:00 / 開場13:00
発売中 全席指定 A席5,000円 B席4,000円
主催:ABCフレド
共催:堺市・(公財)堺市文化振興財団
協力:ABCフレド
協力:ザ・シンフォニーホール
問合せ:ABCチケットインフォメーション 06-6453-6000

堺市民割引 A席のみ 4,500円



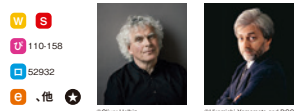
W S U T B E 他

第56回大阪国際フェスティバル2018 フェスティバルホール サー・サイモン・ラトル指揮 ロンドン交響楽団 クリスチャン・ツィメルマン(P)

サー・サイモン・ラトルが名門ロンドン交響楽団の
音楽監督に就任。記念すべき初ツアー。
バーンスタイン:交響曲第2番「不安の時代」
クリスチャン・ツィメルマン(ピアノ)
マラー:交響曲第9番 二長調

2018年9月23日(日) 開演14:00 / 開場13:00

発売中 全席指定 S席29,000円 A席24,000円
主催:(公財)堺市国際文化財団、朝日新聞社、
大阪国際フェスティバル協議会、フェスティバルホール
共催:堺市・(公財)堺市文化振興財団
問合せ:フェスティバルホールチケットセンター 06-6231-2221



W S U T B E 他

及川浩治 ザ・シンフォニーホール ピアノ・リサイタル「名曲の花束」

人気・実力共に日本を代表するピアニストが贈る
誰もが聴きたい、ベストピアノ名曲集。
J.S.バッハ:幻想曲とフーガ / 短調 BWV 542 [13曲編]
リスト:ラカンパネラ [プルーヴェ]
ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ第14番 嬰ハ調「月光」Op.27-2
ショパン:別れの曲 長調 op.10-3
リスト:後奏の夢 第3番
ストラヴィンスキー:ペテルブルージュからの3楽章 他

2018年10月28日(日) 開演14:00 / 開場13:00

発売中 全席指定 4,000円
主催:朝日友の会、ABCフレド
共催:堺市・(公財)堺市文化振興財団
後援:朝日新聞社
協力:エイベックス・クラシックス・インターナショナル
協力:ザ・シンフォニーホール
問合せ:ABCチケットインフォメーション 06-6453-6000

堺市民割引 3,600円



W S U T B E 他

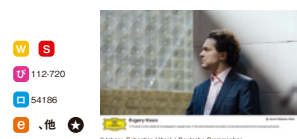
エフゲニー・キーン ザ・シンフォニーホール ピアノ・リサイタル

巨匠への道を歩む永遠のスターが贈る!
ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ第29番 変ロ長調
「ハンマークラヴァー」Op.106
ラマノフ:110の前奏曲 Op.23より、「119の前奏曲」Op.32より

2018年11月10日(土) 開演15:00 / 開場14:00

発売中 全席指定 A席19,000円 B席16,000円
主催:ABCフレド
共催:堺市・(公財)堺市文化振興財団
協力:ザ・シンフォニーホール
問合せ:ABCチケットインフォメーション 06-6453-6000

堺市民割引 A席のみ 17,100円



W S U T B E 他

21世紀の第九 ザ・シンフォニーホール ～第九とアダージェット～

【指揮】ケン・シエ
【管弦楽】日本センチュリー交響楽団
【合唱】京都バプティストカメーレ合唱団
【独唱】上村智恵(S)、山田篤子(A)、松本龍平(T)、萩原寛明(Br)
マラー:交響曲第9番より「アダージェット」
ベートーヴェン:交響曲第9番【合唱付】

2018年12月28日(金) 開演19:00 / 開場18:00

7月22日(日)発売 全席指定
A席6,000円 B席4,500円
主催:ABCフレド
共催:堺市・(公財)堺市文化振興財団
協力:ザ・シンフォニーホール
問合せ:ABCチケットインフォメーション 06-6453-6000

堺市民割引 A席のみ 5,400円

堺市民割引WEB先行(抽選):7月12日(木)昼12:00～



W S U T B E 他

イーヴォ・ポゴレリッチ ザ・シンフォニーホール ピアノ・リサイタル

モーツァルト:アダージェット 口短調 K.540
リスト:ピアノ・ソナタ 口短調
シューマン:交響的練習曲 op.13(遺作演奏付き)

2018年12月2日(日) 開演15:00 / 開場14:00

7月22日(日)発売 全席指定
A席12,000円 B席10,000円 C席8,000円
主催:ABCフレド
共催:堺市・(公財)堺市文化振興財団
協力:ザ・シンフォニーホール
問合せ:ABCチケットインフォメーション 06-6453-6000

堺市民割引WEB先行(抽選):7月12日(木)昼12:00～

堺市民割引 A席のみ 10,800円



W S U T B E 他

テオドール・クルレンツォイス指揮 ムジカエテルナ バトリツィア・コパチンスカヤ(Vn)

ザルツブルグ音楽祭をも度越した話題の風変わり、
クルレンツォイス開幕日プロジェクト!
新たな伝説の開幕! 今聴かないと一生後悔! 大団公演決定!
チャイコフスキー:
ヴァイオリン協奏曲 二長調 op.35
交響曲第6番 口短調 op.74【悲鳴】

2019年2月14日(木)

9月22日(土)発売
先行販売あり
詳細はHPへ



W S U T B E 他